

一唱謳歌いっしょうおうか ~合唱コンクール~

- 以前からお知らせしていましたが合唱コンクールを11/19(金)に行いました。平日にもかかわらず、当日本校体育館に多くの方にお越しいただき、ありがとうございました。
- 新型コロナの感染状況レベルが落ち着いてから合唱の練習を始めたため、例年より短い準備期間となりましたが、限られた時間の中に各クラスで懸命に練習に取り組んでいました。
- 審査の結果、3年1組・2組が金賞、2年1組・2組が銀賞、1年1組・2組が銅賞を受賞しました。最優秀賞は3年2組が選ばれました。
- コンクール当日を迎えるまで、お互いぶつかったり、音も気持ちも揃わずあせったりということもあったのではないのでしょうか。人を感動させるような質の高いものを目指すのであれば、それだけ困難も生じます。しかし、うまくいかないことを乗り越えて、一つのことをやり遂げること自体に意味があります。
- 結果はそれぞれでしたが、テーマ「一唱謳歌」のように、皆で心をつなげて良いものを創り上げる喜び、そしてそのことの尊さを感じられたのであれば何よりです。
- そして、これからの学校生活において、お互いの絆を確かめ、それを生かすうえで良い機会にしてほしいと考えます。



ふるさと西原を考える

- 11/26(金)は、3年生が「志学塾」を体験させていただきました。熊日新聞にも紹介された「西原村生徒議会」のことです。



- 3年生全員が西原村議会場に出向き、代表生徒が議長と質問者を務めました。そして、日置村長様、竹下教育長様をはじめ、それぞれの部署の責任者の皆様に質問し、それに対する答弁をいただきました。
- 質問内容は、村の「財政」「安全・環境」「観光・産業」「教育」「福祉・子育て」などでした。村の施策や現状を前もって調べ、そこで生まれた疑問や要望を質問事項としてまとめていました。
- 質問内容は、中学生として独自の目線から生まれたものに加え、様々な人の立場から考えた質問や要望もあり、3年生の思慮の深さや視野の広さに驚かされました。
- 未来を生きる生徒たちにとって、自分の故郷のことについて興味を持ち、改めて見つめ考え直すことは、とても有意義なものです。
- 自分が属している社会に、自らがどのように関わっていくのか、自分が社会に向けて何を発信できるのかを考えて実行していくことで、自分自身のよさの自覚や、自分が他の人や社会の役に立てるという自信につなげてほしいと願います。
- こうした「自己肯定感」や「自己有用感」、「社会参画意識」は、変化の激しいこれからの社会を生き抜くうえで一層大切にしたいものです。今回、こうした機会をいただいたことをありがたく思います。